



地域の夢 ——— 越路地域

「新市地域らしさ価値」を高めるための越路地域の方針と活動

越路地域は、こんなところ

■越路町の成り立ち

越路町は県のほぼ中央、越後平野の南西端に位置し、町の東部を信濃川が流れ、中央部を渋海川が貫流しています。この二つの川に挟まれた三角州を中心に開けたのが越路町です。越路町の起源は古く、大和・奈良時代は古志の国、越後国古志郡に属していたといわれます。越路町という町名は昭和30年に町村合併で成立した新しい名前ですが、「越の国に通じる道」というこの地域の古名にちなんで命名されました。古くから陸路、水路の中継地点にあり、越の国に至る道という地理的特徴をよく表しています。越路原の旧浜街道沿いに約1kmにわたり、148基の墳丘が点在、渋海川の川床にはゾウの足跡化石もあります。

■ホタルの里

越路の山間部には里山と棚田が残されており、自然のホタルが乱舞し、観光と環境保護のシンボルになっています。平成元年に環境庁より「ふるさと生きものの里」に認定され、現在、町内の小・中学校、地域住民、企業も加わってホタルの保護活動に取り組んでいます。町内の各小中学校では、ホタルの飼育、観察、発表をすることで、自然環境の大切さを教えています。

また、町では「ホタル祭り」、「ホタルファンタジー」などのイベントも企画しています。



越路地域の方針と活動 (右頁参照)

越路地域において「新市地域らしさ価値」を高めるための方向性と、活用したい地域資源(地域の強み)から検討した、将来実現すべき地域の姿(整備・活動方針)と実現のための活動・展開を提示します。

■米と酒の里

肥沃な耕地を持つ越路町は古くからの米どころ。越路町のおいしい米づくりは健康な土をつくることから始まります。有機堆肥による環境保全型土づくり、そして減農薬減化学肥料栽培。平成11年には安全基準の厳

しい東京都と有機農産物等流通協定を結ぶなど、早くから安全でおいしい高付加価値の米づくりを実践してきました。

最近では衛星を使ったタンパク質含有量調査(食味調査)を実施するなど安全でおいしい米をつくるため、他に先駆けて新しい栽培技術に挑戦しています。

また、越路町には全国的に有名な酒造メーカーがあり、良質な酒米と豊富な湧き水、そして厳しい冬の寒さが見事な清酒を産んでいます。



1 整備・活動方針と活動展開

—新市全体のありたい姿— WANT

越路地域において

独創企業が生まれ育つ都市

～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

を高める方向性

- ・環境と共生する産業の様々なあり方の模索
- ・エネルギー産業の立地の可能性
- ・天然ガス自動車の普及などの社会変化

—実現すべき越路の姿— WILL

■越路地域整備・活動方針

豊かな自然環境がつくる 21世紀のクリーンエネルギー に育まれるまちの創造

- ・自然環境に育まれる地場産業の振興・支援
- ・天然ガスを活用したクリーンエネルギー産業の創出・育成

実現していくための活動・展開

見極める

- 企業のクリーンエネルギー利用の推進
- 資源循環型社会を目指した住民・企業・行政が共同で取り組む環境にやさしい実践活動の充実・拡大

発信する

- 自然環境保護活動・クリーンエネルギー導入促進による、クリーンなまちのイメージ発信

育てる

- 天然ガス自動車普及や新エネルギー導入に関わる啓発・教育活動の推進
- 企業による地域貢献活動と住民活動の一層の一体化に向けた啓発と活動の展開

—活用したい地域資源— CAN

資源の強み・内容

国内一流製造業の立地

- 「米菓」1947年創業、国内2番目の米菓出荷量
 - ・人気商品の米菓を全国販売、できたての味を追求し、高品質・鮮度第一主義による独自出荷方式採用
- 「酒造」天保元年（1830年）からの創業で関東信越国税局管内一の出荷量
 - ・全国ブランドの日本酒を製造、おいしい恵みの水と土づくりから始まる高品質の酒米（原料）づくり、環境保護活動への積極的参加、酒づくり継承などの伝統文化支援活動で地域に貢献
- 「スポーツ用品製造」テニス、バドミントン、ゴルフ、スノーボードなど多岐にわたる
 - ・世界的に有名なスポーツ用品メーカー、常に新製品開発で世界をリード

ガス田

- 天然ガスの供給をパイプラインにより県内及び首都圏まで行っている
 - ・国内最大級の天然ガス埋蔵量、石油に比べCO2排出量及び窒素酸化物の少ないクリーンエネルギー、天然ガスを活用した*コージェネレーションシステム導入計画

*コージェネレーション：同一燃料から電力と熱を同時につくること



2 整備・活動方針と活動展開

—新市全体のありたい姿— WANT

越路地域において

元気に満ちた米産地

～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

を高める方向性

- ・うまい米づくりに向けて生産技術の更なるチャレンジング
- ・生産者、消費者ともに元気の出る米作りの模索

—実現すべき越路の姿— WILL

■越路地域整備・活動方針

最新技術と確かな技が 生み出す元気のある 米生産・技術導入拠点の創造

- ・安心、安全、おいしい米生産の追求に向けた新しい栽培技術導入への挑戦
- ・安心な米生産と環境一体化の模索

実現していくための活動・展開

見極める

- 生産者と専門家、行政が連携することにより最先端栽培技術の開発・導入支援と普及活動の促進
- 生産者の顔が見える販売体制づくりと、需要安定を目指した契約栽培体制の確立

発信する

- 新潟の米を代表する新たなブランドの確立と、米関連食品のPR展開
- 確かな技術と、安全・安心の生産環境の発信

育てる

- 生産組織の法人化促進と、農業従事者の若がえりによる元気な米づくり地域の創出

—活用したい地域資源— CAN

資源の強み・内容

こだわりの生産技術

- 有機堆肥による環境保全型土づくり
 - ・売れる米を目指してきた地域、高付加価値米の生産地（スーパーコシヒカリ）
- 減農薬減化学肥料栽培
 - ・新しい栽培技術の先行的な取り組み
 - ・農業技術者の技（人材と努力）
- エコノスによるリモートセンシング（衛星を使った食味調査）
 - ・たんばく質含有量調査によるうまい米づくり
- 単位収量の抑制
 - ・適正数量によるおいしい米づくり

農業生産組織の先進性

- ・神谷生産組合、リバーサイド石津、ファームリンクルなどの生産組織企業化（製品化まで）

地域に合った生産体制

- ・充実した集落営農体制の確立

安心を支える環境

- ・豊かな水と自然環境、健康な土づくり

第4部 私たちの望むまちと取り組み

◆地域の夢（越路地域）

3 整備・活動方針と活動展開

—新市全体のありたい姿— WANT

越路地域において

世代がつながる安住都市

～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

を高める方向性

- ・あらゆる人々が尊重される社会の実現による人材育成、人間教育の重要性
- ・ノーマライゼーションの更なるチャレンジング

—実現すべき越路の姿— WILL

■越路地域整備・活動方針

豊かな自然環境に育まれた個性尊重による人づくり地域の形成と発信

- ・心豊かな子どもを育て、すべての人々が支えあう地域の創造と発信

実現していくための活動・展開

見極める

- 自然・産業・地域コミュニティが融合した、住みやすさ日本一の地域づくり
- 高齢者・障害者と地域の人々の交流システムづくり

発信する

- “ノーマライゼーション先進地域”としての、自然・生活環境、地域福祉活動の発信

育てる

- すべての世代が自然と親しむ、グループ活動等の育成
- 国際交流促進による、子どもたちの国際感覚醸成

—活用したい地域資源— CAN

資源の強み・内容

ホテルと自然環境

- 沢すじにホテルの群生地
 - ・ホテル群生地を各地域で保護活動
 - ・学校ホテル部会の飼育・観察・発表

充実した高齢者・障害者福祉施設

- 高齢者だけでなく、身体障害者、知的障害者、精神障害者の施設整備が行なわれている
- ・特別養護老人ホーム：2箇所、ケアハウス：1箇所、高齢者デイサービス施設：3箇所、身体障害者入所施設：2箇所、知的障害者通所施設：1箇所、知的障害者グループホーム：7箇所、精神障害者支援施設：1箇所、精神障害者グループホーム：1箇所など、1つの自治体でグループホームが8施設あるのは、県内では越路町のみ
- ・施設だけでなく、グループホーム入居者が、地域行事に参加するなど、地域が暖かく見守っている
- ・施設ボランティアグループがある

整備済みの生活インフラ

- ・全町ガス、水道、下水道が整備済み

交通利便性

- ・長岡中心部への距離的時間的な近さ

中学生海外派遣事業

- ・作文で生徒がユネスコへ招待された

—活用したい地域資源— CAN

資源の強み・内容

長谷川邸

- ・300年前の茅葺家屋、越後最古の民家、国指定重要文化財（S56）

三波春夫

- ・大正12年生まれ国民的歌手、ヒット曲多数、顕彰碑がある

宝徳山稲荷大社

- ・縄文時代からの歴史を持つ朱塗り大殿堂、年間20万人が参拝、夜祭大祭（ろうそく祭り）など多数の行事

もみじ園

- ・明治29年大地主高橋家の別荘として造られ、樹齢150年以上のもみじなどで秋に最高潮を迎える

酒・酒造り

- ・全国的に有名な銘柄、杜氏の里、工場見学

ホテル

- ・沢すじに群生地、ホテル祭り、ホテルファンタジーなどがあり、ホテルサミットによる交流活動もある

地球の歴史

- ・向斜軸（珍しい地層）と昔マンモスの足跡があり、隠れた資源となっている

田舎の伝統行事

- ・各集落のまつり、賽の神、神楽舞

見極める

- 観光スポットの魅力度向上にむけたコースづくりによる、新たな観光プログラムの創出

発信する

- 地域の資源を活用した、歴史探訪プログラムの開発・発信

育てる

- 地域文化・日本文化を伝える活動や家庭で外国人を受け入れる活動の推進によるもてなし地域づくり

4 整備・活動方針と活動展開

—新市全体のありたい姿— WANT

越路地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市

～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

を高める方向性

- ・他地域との連携活用と情報発信

—実現すべき越路の姿— WILL

■越路地域整備・活動方針

自然と歴史の広域交流をつなぐ地域の形成

- ・他地域の観光資源との連携化を図り、広域交流の一翼を担う地域づくり

実現していくための活動・展開

見極める

- 観光スポットの魅力度向上にむけたコースづくりによる、新たな観光プログラムの創出

発信する

- 地域の資源を活用した、歴史探訪プログラムの開発・発信

育てる

- 地域文化・日本文化を伝える活動や家庭で外国人を受け入れる活動の推進によるもてなし地域づくり

もっと詳しく地域の力

越路地域

夏暑く、冬は豪雪。清流渋海川と泰然と流れる信濃川。ホテルが飛び交う緑豊かな山間部と水田が広がる平野部。

農業はもちろん、越路町の企業はこの豊かな自然に育まれてきました。安全・安心のおいしい米、良質な酒米と湧き水からつくられる芳醇な清酒、できたてのおいしい米菓など、毎日全国各地に送り出されています。いずれも自然の恵みと先進技術が融合した越路ならではの逸品です。

■ホテル舞う里・越路町は人にやさしい町

環境庁から「ふるさと生きものの里」に認定されたホテル舞う里・越路町は人にもやさしい町。

あらゆる人々が尊重される社会、ノーマライゼーションの実現を目指し、高齢者・障害者福祉施設の充実に力を入れてきました。知的障害のある人たちのための通所作業所は2箇所、また知的・精神の障害を持つ人たちが地域のなかで共に生活するためのグループホームは現在8箇所あります。

作業所に通う人やグループホームの入所者は地区の祭りや行事に参加するなど、町の人たちも地域ぐるみで暖かく見守っています。

今後は高齢者・障害者と地域の人々の交流をさらに深め、「ノーマライゼーション先進地域」として、福祉施設などの整備された生活環境や地域の人々の持つ豊かでやさしい心を全国に発信するよう努めます。



■カントリーエレベーター

巨大なカントリーエレベーターでは、人工衛星による食味分析の結果をもとに減農薬減化学肥料の特別栽培米等をサイロ別に仕分けをし、低温貯蔵・水分調整し、今摺り米・産地直送米として消費者に発送しています。また、転作奨励品目の大豆、大麦、そば等の集荷も行い、これらの乾燥処理をはじめ転作大豆を使用した豆腐加工も行っています。



■特別養護老人ホーム こしじの里

福祉に力を入れてきた越路町では、老人福祉施設の他にも身体障害者施設、知的障害者施設、精神障害者施設など福祉施設が充実しています。



■天然ガス

越路原のガス田は埋蔵量・産出量ともに国内最大規模。パイプラインによって県内や首都圏に供給されています。また、天然ガスを利用した発電所の建設が計画されており、2005年秋には発電が開始される予定。



■長谷川邸

重要文化財に指定された越後最古の民家。武士の出身と言われる長谷川家がこの地に居を構えたのは近世初期以降。以来地主としての地位を固め、代々庄屋を勤めてきた豪農です。



■「小中学校ホテルの会」発表会

越路町には「こしじホテル連合会」があり、ホテルの保護とホテルの生息しやすい環境づくりに取り組んでいます。その分科会「小中学校ホテルの会」はホテルの飼育・観察やホテルの生息する河川の水質検査など行っており、活動の成果を発表しています。